

# [フィルター] シェルフの使用

---

「[フィルター] シェルフの使用」トレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

ここでは、売上データの内訳を表示した状態で、[市場] に基づいてフィルターを適用したいとしましょう。[市場] フィールドは、[データ] ペインから [フィルター] シェルフにドラッグできます。そして、フィルタリングの方法を選択します。たとえば、国内市場の米国・カナダを除外してみましょ。チェックはすべて外し、[除外] を選択して、除外したいものを選びます。終わりました。これでビューにフィルターを適用できました。

ここで、もう少し詳しく見てみましょう。[フィルター] シェルフにあるフィールドを右クリックし、[フィルターの編集] を選択すると、またダイアログが開きます。このウィンドウでは、さまざまなフィルター機能を設定できます。一部の機能を見てみましょう。

## フィールドタイプとフィルター

フィルター機能を使用するときに表示されるオプションは、フィールドのタイプによって異なります。フィールドタイプとその影響については、「Tableau の動作の理由」セクションのフィールドタイプのトレーニングをご覧ください。

## 不連続ディメンションのフィルター

これは、不連続ディメンションにフィルターを適用するときのダイアログです。

- 最初の [全般] タブに、フィルターを適用するフィールドの値のリストが表示されています。ここに、まとめて選択したり選択を外したりするボタンがあります。また、値の選択や、必要のない値の除外もできます。
  - リストが長い場合は、このように検索することもできます。
  - [すべて使用] を選択すると、このフィールドのメンバーが変わっても、常にすべてのメンバーをフィルターへの入力として使用できるので便利です。
- [ワイルドカード] では、非常に細かくフィルタリングを行えます。たとえば、フィールドがメールアドレスで、Tableau のドメイン名を除外したい場合は、[除外] を選択し、[次で終わらない] を選択して、「@tableau.com」と入力すると、Tableau の従業員を除外できます。
- [条件] タブでは、他のフィールドに基づいたフィルターを設定できます。まず、このダイアログを閉じ、[製品名] でフィルタリングすることにしましょう。この方が少し理解しやすくなります。たとえば、平均販売数が 1 より多い製品のみをビューに表示したいとしましょう。
- まず、[条件] タブで、
  - フィールドに指定するのは [数量] です。
  - 集計方法は [平均] です。
  - 比較演算子は「大なり」です。
  - そして「1」と入力します。
    - 条件が適切であることを確認したい場合には、[読み込み] をクリックするとそのフィールドの値の範囲が示されるので、操作している内容がわかります。
  - [条件] タブでは計算も指定できます。それが、この [式ごと] です。
  - SQL で言えば、条件で WHERE 句に HAVING 句を追加するのと似ています。
- [上位] でも、他のフィールドに基づいたフィルターを設定できます。
  - また、[上位] か [下位] でフィルタリングできます。

- [上位] フィルターで思い通りの結果が得られない場合は、「上位および上位 N フィルタリング」のトレーニングをご覧ください。

フィルタリングは、パラメーターを使って動的に行うこともできます。この場合、条件で定数は指定しません。パラメーターの作成と使用について詳しくは、「パラメーター」のトレーニングをご覧ください。

不連続ディメンションのフィルターは以上です。

### メジャーまたは連続するディメンションのフィルター

[配送料] のようなメジャーを [フィルター] シェルフにドラッグすると、異なるダイアログウィンドウが表示されます。

フィールドがメジャーの場合は、まず [フィールドのフィルター] ダイアログが表示され、集計のタイプを指定するよう求められます。集計と、レコードレベルでのフィルターとの違いについて詳しくは、「Tableau のフィルター実行個所」のトレーニングをご覧ください。

ここでは、[すべての値] を選択します。これはレコードレベルのフィルターで、次に定量的なフィルターすべてのオプションが表示されます。

- [値の範囲] では、上限値と下限値を設定できます。
  - あらかじめ表示される上限と下限は、データソースに含まれている値と、ビューの作成方法によって決まります。
  - どういうことか見ていきましょう。ここで、ビューには中南米市場の家具が含まれています。そして、[配送料] の範囲はおよそ 1 ドルから 810 ドルです。この [表示] オプションを、[関連値のみ] から [データベース内のすべての値] に変更すると、配送料が最大で 933 ドルになる製品もあることがわかります。
- [最小] と [最大] は、下限または上限だけを指定すればいい場合に便利なオプションです。
  - 別の例を見てみましょう。[フィルター] シェルフでフィールドを右クリックして、フィルターの設定を見えます。ここには、[利益] のフィルターがあり、下限に 0 が設定されて、利益の出していないマークが除外されています。
  - [OK] をクリックすると、このインタラクティブフィルターでどのようになるのかを確認できます。
  - ここで、製品の [カテゴリー] ごとにまとめてみるとどうなるでしょうか。うっかり範囲の上限も固定してしまったので、利益のあるカテゴリーが 2 つ除外されてしまいました。
  - フィルターに戻りましょう。これが除外の原因です。
    - 実際には、[最小] で 0 を設定する必要があります。ビューを調整したとき、上限が変動することがあるからです。
- 定量的なフィルターの最後は [特別] オプションで、NULL 値でフィルタリングできます。

定量的なデータのフィルターは以上です。

### 連続する日付のフィルター

日付のフィルターについて説明します。日付フィールドにはこのカレンダーアイコンが表示されており、[フィルター] シェルフにドラッグすると、メジャーのときと同じく [フィールドのフィルター] が表示され、日付のフィルター方法を設定できます。

不連続な日付は、ディメンションと同様に扱われます。

- 不連続な日付を選択するための単位が表示されます。アイコンは青です。

一方、連続する日付には固有の日付オプションがあります。

- ここで選択できるのは、[日付の範囲] か [相対日付] です。

- 次に、連続する日付のオプションが表示されます。
- [相対日付] では、日付の単位を指定できます。
  - 過去 2 年間を見るなら、このようになります。
  - また、範囲も指定できます。[今週 (現在まで)] などです。
  - 既定では、フィルターの基準は今日に設定され動的ですが、日付を固定することもできます。
- [日付の範囲]、[開始日]、[終了日] はメジャーのときと似ていますが、カレンダーの日付ピッカーを使用します。
  - 連続する日付のインタラクティブフィルターは、範囲として表示されます。スライダーを使うこともできますし、日付をクリックしてカレンダーピッカーを使ったり日付を入力したりもできます。
  - 日付の範囲はその日を含み、上限と下限の日のデータも表示されます。

## まとめ

[フィルター] シェルフとオプションについての詳しい説明は、これで終わりです。フィルターは非常に奥が深いので、詳しくは他の無料トレーニングビデオもご覧ください。